

学校だより

東京都立北特別支援学校

令和6年12月25日発行

2 学期末号

校長 小池 巳世

少し前のこととなりますが、10月24日に「東京都特別支援教育推進計画（第二期）第三次実施計画（素案）」が発表され、11月にパブリックコメントの募集がありました（現在も東京都教育委員会のHPで見ることができます）。パブリックコメントを受け、細部を検討して、今年度末までに正式な計画が策定される予定です。特別支援学校で授業を受けている児童・生徒に関する内容でもあり、障害種別で特別支援学校にいる子供たちにも意見を聞きたいということで、東大こだま分教室に教育委員会の担当者が来て、計画の内容の説明や今後学校で学習したいことなどのインタビューをする機会もありました。

第二期、第三次という言葉があるように、「東京都特別支援教育推進計画」が策定されたのは平成16年で、平成28年度までの第三次実施計画に続き、平成29年に推進計画（第二期）が策定され、現在はその第二次実施計画に基づいて、様々な取組が進められています。現在の副籍交流の実施や自立活動の外部専門家・学校介護職員の導入、医療的ケアの推進、病弱教育部門の設置や病弱教育支援員の配置などもこの計画により行われています。今年度、肢体不自由教育部門小学部Cグループの「デジタルを活用した他校との共同学習」、中学部BCグループが都立王子総合高等学校と行っている「特別支援教育の理解促進に向けた障害者スポーツを通じた交流」もこの計画に関わる指定事業となっています。これらの指定事業での成果が各校に周知され、東京都全体で取り組まれるようになります。また、どの計画にも都立特別支援学校だけでなく、小学校、中学校、高等学校における特別支援教育についても多くの取組が含まれてきています。今回の三次実施計画（素案）では、肢体不自由や病弱に関わる内容として医療的ケアのさらなる推進や、（障害の程度や障害種別に応じた）デジタルを活用した指導内容・方法の研究・開発、多摩地域南西部における病弱教育部門や病院訪問教育拠点校指定の検討などが載っており、注目しているところです。学校独自の取組もありますが、本校もこの推進計画を意識しながら学校経営計画を作っています。今年度末に「東京都特別支援教育推進計画（第二期）第三次実施計画」が策定された際にはお知らせしますので、関心をもって読んでいただければと思います。

クリスマスが近づいた先日のNHKニュースで、イギリスのサンタクロース養成学校では、聴覚障害のある子供にプレゼントを届ける時に「何がほしい？」などの基本的なやり取りができるように手話の講座もあるという話が出ていました。推進計画にもあるように、来年の11月15日から26日まで「東京2025デフリンピック」が開催されます。

1924年の最初の開催から100周年の記念となるこの大会には、世界各地から「聞こえない人、聞こえにくい人」が集まり、21種目の競技で熱戦が繰り広げられるそうです。暑い中、パリ・パラリンピックにおける選手の活躍の報道と共に始まった2学期も終わり、明日から冬休みとなります。今年は能登半島地震で始まった一年でしたが、来年のお正月はもちろん、一年が穏やかに過ぎることを願うばかりです。寒さも厳しくなり、感染症の流行や乾燥が気になる時期ですので、体調に気を付けてお過ごしください。2学期の学校の取組に御理解、御協力いただき、ありがとうございました。

学校だより別紙

高等部2年修学旅行報告

11月12日(火)～14日(木)の間、横浜に行きました。1日目は、ドキドキ、ワクワクしながらスクールバスで横浜へ向かい、素敵なレストランでコース料理をいただきました。盛り付けが美しいだけでなく、食べても美味しく、みんな大喜びでした。ランドマークタワーの展望台では、景色を堪能したり、買い物をしたりして楽しむことができました。2日目は、横浜中華街とカップヌードルミュージアムへ行きました。中華街では、お土産を買ったり、本場の中華料理を味わったりしました。カップヌードルミュージアムでは、カップのデザインを描き、スープの味、中に入れる具材など自分で考えて、世界に一つのマイカップヌードルを作りました。3日目は、ホテル周辺での探索活動です。5つのチームに別れて、それぞれのミッションをクリアすべく力を合わせて取り組みました。今回の修学旅行の目標は、体験活動を通して自律心や責任感を育てたり、宿泊学習を通して友達と心の交流を深め、仲間意識を育てたりすることでした。様々な体験活動を通し、友達と一緒に宿泊し、ミッションをクリアしたことで、目標を十分に達成することができました。友達との素敵な思い出を作り、学校生活最後の宿泊学習を楽しむことができました。

病院訪問校外学習①に行ってきました

10月17日(木)入院中の児童・生徒10名が、スクールバスを使って校外学習を行いました。行先は、北特別支援学校です。自分が所属する学校がどこにあるのか、どのような学校なのかを見るのは、どの児童・生徒も初めてです。

学校に着いてから、体育館で、まずは一人ずつ校長先生に「〇年生の〇〇です」と、ドキドキしながらも挨拶をしました。的当てのレクリエーションを楽しんだ後、フリースペースで友達や先生と「よーい、ドン！」で競走するなど、思い思いに身体を動かしました。のんびりしたい人はマットに座って友達の様子を見学し、担任以外の先生ともおしゃべりを楽しみました。

短い時間でしたが、児童・生徒たちにとっては、集団のルールを守りながら、楽しくレクリエーションや友達との交流ができました。

病院訪問校外学習②に行ってきました

11月14日(木)入院中の児童・生徒5名が、スクールバスや福祉タクシーを使って、上野の国立科学博物館への校外学習を行いました。

それぞれの興味に合わせて、事前学習で見学ポイントを決めて当日に臨みました。ある児童は、棺に入っているミイラや動物のはく製に時間をかけて見学しました。ある生徒は、クビナガスズキリュウの大きな骨をじっくりと堪能しました。昼食場所では、他の病院に入院している病院訪問学級の仲間と実際に会うことができました。食後は、ミュージアムショップで買い物を楽しみました。

病院訪問学級の授業を受けている児童・生徒たちは、ふだんはマンツーマンで授業をしています。他の病院で、自分と同じように治療や学習を頑張っている“仲間”の存在を知ることのできる、貴重な体験になりました。